

所 報

(2006.11.1～11.30)

□人 事

(11月1日付)

職員異動 土屋 広康 主事補 (保健体育部多摩体育課に転出)

(11月6日付)

事務嘱託 柴田 光代 (研究開発センター (市ヶ谷) より転入)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』577号 (2006年12月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	115	14	129
受 贈	108	1	109
合 計	223	15	238

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 24日
 閲覧人員 50名
 貸出図書 83冊

コピーサービス

学外 28件 2893枚
 学内 15件 1739枚

日 誌

- 1日 日本学術振興会実地検査
 法政大学図書館との間で「協調会文庫の移管に関する覚書」締結
- 4日 現代労使関係・労働組合研究会
 テーマ:「佐口和郎・橋元秀一編『人事労務管理の歴史分析』(ミネルヴァ書房, 2003年)の検討」
 報告者:兵頭淳史氏, 鷺谷徹氏, 鈴木玲
- 6日 日本学術振興会科研費説明会 (出席:若杉隆

志)

- 7日 社会労働関係資料センター連絡協議会総会
 (～8日)(於:三田会館 出席:五十嵐仁, 若杉隆志)
- 8日 戦後労働運動研究会
 テーマ:「各担当年の収録資料について」
 報告者:吉田健二, 川崎忠文, 鈴木玲, 早川征一郎
- 9日 国際交流講演会
 講演者:エマニュエル・ネス氏 (ニューヨーク市立大学教授)
 テーマ:「地方労働組合評議会再生の取り組みとアメリカ労働運動の未来」(通訳:鈴木玲)
- 11日 高知県社会労働運動史展—2006年度特別展大正デモクラシーをかけぬけた青春群像 (主催:高知市立自由民権記念館, 共催:法政大学大原社会問題研究所・賀川豊彦記念松沢資料館・大阪社会運動協会) (10月21日～11月26日)
 記念講演会 (於:高知市立自由民権記念館)
 演題:「近代日本における社会運動と高知県」
 講師:梅田俊英
- 14日 事務会議
- 15日 運営委員会
 議題①所長・副所長の選出について
 ②07年度研究所予算について
 ③その他
 『日本労働年鑑』編集会議
- 16日 全国金属南大阪争議資料関係打ち合わせ (川上忠雄, 増田寿男, 平井陽一, 若杉隆志ほか)
- 18日 加齢過程における福祉研究会
 テーマ:「介護予防と社会参加—相模原市の高齢者の社会参加活動を事例に」
 講師:町田隆夫氏 (介護問題研究者)
 労働政策研究会
 テーマ:「EUにおける最近の労働政策と労働組合運動の特徴—サービス指令案, 新国際労働組合組織の結成にも触れて」
 報告者:宮前忠夫氏 (国際労働問題研究者, 労働者教育協会理事)
- 20日 司書課程見学 (平野美枝恵先生 (キャリアデザイン学部非常勤講師)) 20名
- 22日 研究員会議
 月例研究会
 テーマ:「近代日本における社会運動と高知県」

報告者：梅田俊英

戦後労働運動研究会

テーマ：「別巻・テーマ別索引について」

報告者：早川征一郎

24日 協定会研究会

2007年2月『産業福利』復刻に向けての準備作業（梅田俊英，高橋彦博，横関至）

28日 事務会議

30日 見学：法政大学司書課程（図書館資料論）の学生3名

『大原社会問題研究所雑誌』印刷の入札業者説明会

——OISR.ORG上における『日本労働年鑑』「特集」の公開（2006年）——

『日本労働年鑑 第74集 2004年版』「特集 若年労働者の就業をめぐる諸問題」（7.31）

『日本労働年鑑 第73集 2003年版』「特集 メンタルヘルス問題と職場の健康——その現状と対策」（8.11）

『日本労働年鑑 第72集 2002年版』「特集 労働時間法制の改編と運用の実態」（8.21）

『日本労働年鑑 第71集 2001年版』「特集 人事評価と労働組合」（8.25）

『日本労働年鑑 第70集 2000年版』「特集 現代日本の雇用変動と雇用・失業問題」（9.1）

『日本労働年鑑 第69集 1999年版』「特集 国際労働組合運動の五〇年」（9.8）

『日本労働年鑑 第68集 1998年版』「特集 現代日本の社会福祉労働——その現状と課題」（10.8）

『日本労働年鑑 第67集 1997年版』「特集 高齢者就業・雇用の現状と課題——新しい日本型雇用・システムへの転換」（10.18）

『日本労働年鑑 第66集 1996年版』「特集 戦後50年の労働問題」（10.25）

『日本労働年鑑 第65集 1995年版』「特集 I L O と日本」（10.25）

『日本労働年鑑 第64集 1994年版』「特集 日本における外国人労働者の現状」（11.10）

『日本労働年鑑 第63集 1993年版』「特集 現代日本の女性労働」（11.17）

『日本労働年鑑 第62集 1992年版』「特集 ユニオンリーダーの属性と意識」（11.24）

『日本労働年鑑 第61集 1991年版』「特集 労働組合組織化の新たな動向」（12.1）

大原社会問題研究所利用のご案内

【利用できる方】

とくに制限はありません。社会・労働問題に関心のある方ならどなたでもご利用できます。

【開館時間】

〈平日〉9時30分～16時30分 〈土曜〉9時30分～12時

【休館日】

日曜、祝日、年末年始、大学の入学試験日、他に大学の事情により休館することもあります。その都度掲示、ホームページでお知らせします。

【複写】

1枚30円（法政大学教職員・学生は1枚10円）

*ていねいコピーは1枚50円

コンピュータからの所蔵データのプリント：10枚ごとに10円 *貴重書・劣化の激しい図書・製本新聞は複写できません。

【館外貸出し】

法政大学教職員・学生のみ可

専任教員：10冊 3か月以内

その他教職員・大学院生：5冊 3か月以内

学生：3冊 1週間以内

*戦前資料・原資料・事典類・新着雑誌・整理中の図書資料は貸出しいたしません。

*大学院生・学生は最初に利用登録していただきます。

【所蔵資料の出版物への利用】

1点につき3千円です。研究所長宛に内容を明記した「許可願い」を出してください。

*同一内容の場合は2点目以降は千円。

*使用したフィルムは研究所に寄贈してください。

*掲載図書には、当研究所所蔵である旨を明記し、1点を寄贈してください。

【展示会等への所蔵資料の特別貸出し】

目的・資料名を明記した「借用願い」を出してください。

【非来館サービス】

〈文献複写〉上記料金+送料実費で行います。文書・Fax・メール等でお申し込みください。

〈図書の郵送貸出し〉図書館・研究機関を対象に行います。冊数：3冊以内 期間：1か月以内

大原社会問題研究所雑誌 No.580（2007年3月号）

2007年3月25日発行

定価1,000円（本体952円）、年間購読料12,000円

編集（兼）発行人 法政大学大原社会問題研究所
所長 相田利雄

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042（783）2307